

省エネ型機器購入支援事業委託業務に係る
プロポーザル審査結果

1 審査委員会の日時及び会場

日時：令和8年4月3日（金）13:30～16:15

場所：高知県保健衛生総合庁舎5階会議室

2 参加者

2者

3 審査の項目及び配点

総合点数は600点（審査委員4名、審査委員1人あたり150点）

とし、審査委員1人あたりの審査項目ごとの配点は次のとおり。

(1) 業務に対する理解度・企画提案力	10点
(2) 現金交付に関すること（A）	30点
(3) 現金交付に関すること（B）	50点
(4) 事業に係る周知活動	10点
(5) セキュリティ等	10点
(6) 業務実施体制・業務実績	20点
(7) 業務経費	15点
(8) 県が推進する施策への取り組み	5点

4 審査方法及び審査結果

企画提案書、プレゼンテーション及び質疑応答の内容に基づき、各審査委員が審査（採点）を行うとともに全体で協議した結果、次のとおり本業務の契約候補者を選定した。

審査項目	候補者	次点者
	株式会社JTB高知支店	A社
(1) 業務に対する理解度・企画提案力	26点	26点
(2) 現金交付に関すること（A）	87点	78点
(3) 現金交付に関すること（B）	145点	130点
(4) 事業に係る周知活動	23点	28点
(5) セキュリティ等	30点	30点
(6) 業務実施体制・業務実績	56点	50点
(7) 業務経費	36点	39点
(8) 県が推進する施策への取り組み	16点	8点
総合得点 （(1)～(8)計）	419点	389点

○ 審査委員の主な意見

- ・ 過去の受託経験を生かしつつ、高知県民の県民性である駆け込み申請も想定し、円滑な業務遂行に必要な人員体制等が構築されている。
- ・ 現金交付原資を最大限確保できるように、経費配分等の再精査が必要。
- ・ 申請率の向上のため、申請サポートを行う店舗をフォローする取組の検討がなされることが望ましい。
- ・ 前回のキャンペーン実施時に多かった質問等を踏まえたマニュアルの整備が必要。
- ・ 前回のキャンペーン実施時において、店舗に来店されてキャンペーンを知った方が多かったという実績を鑑みると、広報については強化する必要がある。
その際は、年配の方が多い本県の年齢構想を考慮しつつ、幅広い手法・媒体の検討が必要。
- ・ スタート時期から十分に広報を行うことで、店舗の繁忙期と申請時期が重複しないよう需要の平準化を図る必要がある。